

足利高が文科大臣表彰

キャリア教育で優良校

【足利】社会で必要な知識や心構えを身に付けるキャリア教育の優良学校として、足利工業高は本年度の文部科学大臣表彰を受けた。全国で26の高校が受賞。文科省によると、身の回りの整理などを徹底させる「5S運動」や「職場実習と高大連携事業」などの取り組みが評価された。県内の高校の受賞は昨年の白鷗大足利高に続いて2校目で、県立高の受賞は初めて。

(おおたけいすけ)
太田啓介

「5S運動」など評価

同校は、職業人としての心構えを身に付けてもらうと、「整理・清掃・整頓・清潔・しつけ」の頭文字を取った5S運動を2005年から市内の学校として初めて導入している。生徒は身の回りの整理・清掃・整頓を徹底しているほか、「あいさつ・身だしなみ・言葉づかい・交通マナー・携帯マナー」を意識して学

校生活を送っているという。

また、地域の企業や足利工業大と協力。毎年3年生が企業や同大に赴き、金属加工や市内の河川の水質調査など、普段の授業ではできない高度な実習や研究などを



職場実習をする生徒

れまでの活動が認められ、11月の創立120周年に向けて弾みの付く受賞となった。地域との連携をさらに向上させ、今後もキャリア教育を充実させていきたい」と話した。

同省は2006年度から、キャリア教育の充実を進め、顕著な功績が認められた学校や教育委員会などを表彰している。

五月女勉校長(59)は「こ

ろ、約900人の生徒が参加した。